

(様式3)

事業所名 グループホームおちあい

目標達成計画

作成日: 令和 5年 2月 13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、当社の別事業所において、終末期の対応をお願いしていたところですが、利用者様、ご家族様のご意向により、最期までお願いしたとの話がありました。できるだけ、ご本人、ご家族の意向に沿うためにも、未経験ではありますが、取り組んで行きたい所です。 課題として、終末期については職員にも精神的な負担が大きくなることから、焦らずに時間をかけ、心のサポートもおこなって行き、スキルアップを図っていく。	職員へ、重度化や終末期に向けた方針についての研修を実施する。 また、ご家族との話し合いの場には、管理者だけではなく、職員も同席するなどの工夫をして、ご本人の意向や家族の希望などについて、同じ方向性でケアを行えるように心がける。 終末期については、恐怖心を持つ職員もいますが、心のケアも考え、個々が実践できることを率先して取り組めるようサポートしていく。	研修は看取り介護についての実践例などを提示し、どのような取り組みをしているかなどの情報を共有する。 家族との話し合いへの職員の参加について、ナイーブな内容ではありますが、普段接している職員だからこそ、ご本人の意向も分かるはずなので、情報の伝達のためにも、参加していただく。その際に、職員の心のケアも含め、様々な事例についてのカンファレンスを行う。 医療連携の看護師にも協力して頂き、終末期にはどんなことが起きるかなど、話し合いができる機会を設ける。	通年
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。